

おすすめ機能

番組表でTV番組を選べる

テレビ視聴中に画面をタッチ！番組表からお気に入りの番組を選べます。



ドライブ中に放送エリアが変わっても、
近くの放送局をナビがキャッチ

遠出のドライブ中にテレビ局の放送エリアを離れ、映像が映りにくくなったら、「おでかけ」モード (P.108) に。受信状態のよい中継局、または同じ系列の放送局に切り換えます。

HDD MUSICがラジオ番組風に！

HDD MUSICに録音した音楽が、ラジオ番組を聴くように楽しめる「Music Stylist」 (P.92)。
ミュージック スタイリスト

録音時に曲調解析したテンポやリズムなどの情報や年代・カテゴリーの情報を基に、DJが季節や場所・時間に合わせて、おすすめの選曲とトークで楽しませてくれます。



DJ.TOGGY DJ.LILY

78 ページ

いろいろな方法で
音楽を楽しむ

- CD・MP3/WMAを聴く
- HDDに録音した音楽を聴く
- BLUETOOTHオーディオを聴く
- SDI Audioを聴く
- iPodを聴く

102

映像を楽しむ

- デジタルTVを見る
- データ放送を見る
- 緊急警報放送(EWS)を見る
- DVDを見る
- 静止画を見る

118

ラジオを聴く

- 自車位置の地域に応じて放送局を選ぶ「エリアモード」

119

交通情報を聴く



AUDIOの基本操作

オーディオを切り換える

オーディオメニューから (P.40)

CD (P.78) 例: CD
MP3/WMA (P.78)
DVD (P.112)

● 入っているディスクの種類によって表示が変わります。
(ディスクが入っていないときは、「DISC」と表示)



デジタルTV (P.102) HDD MUSIC (P.81) Music Stylist (P.92) FM/AM (P.118)

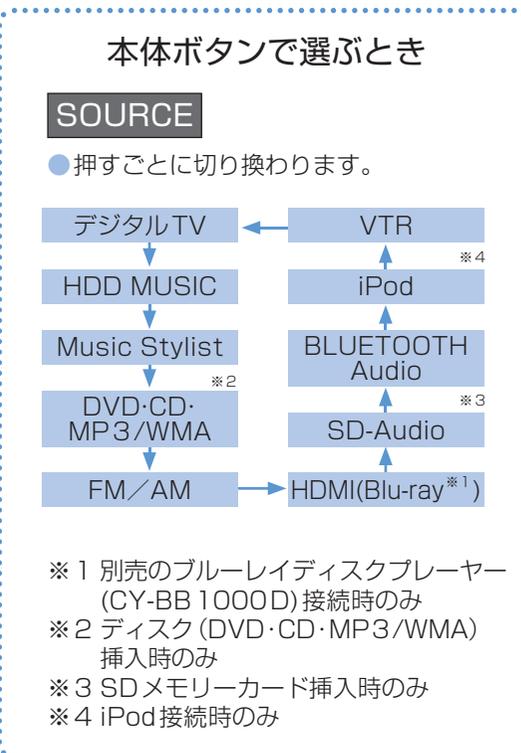
HDMI SD-Audio Bluetooth® Audio iPod VTR

ハンズフリー PHOTO よく使うボタンを設定する

VTR (P.143)
iPod (P.100)
Bluetooth® Audio (P.94)
PHOTO (P.116)
SD-Audio (P.99)
ハンズフリー (P.124)

HDMI (P.144) Blu-ray

● 別売のブルーレイディスクプレーヤー (CY-BB 1000D) 接続時は表示が変わります。

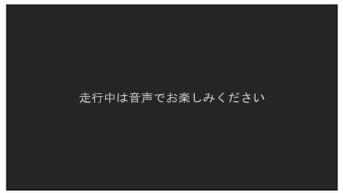



お知らせ

● ハンズフリー通信中 (発着信中、通話中) は、切り換えることができません。

● 走行中は、デジタルTV^{※5}、DVD^{※5}、HDMI (Blu-ray^{※1})^{※5}、VTR^{※5}、静止画、スナップエフェクターの映像は表示されません。
安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。

※5 走行中でも、2台目のモニターには映像が出力されます。



画面例

オーディオをOFFにする

ツートップメニューから (P.40)

AUDIOをOFFする (AUDIO 長押しでも可能です)

● オーディオの音声・映像がOFFになります。

再度オーディオをONにするとき

AUDIOをONする

お知らせ

● ハンズフリー通信中 (発着信中、通話中) は、切り換えることができません。

オーディオからナビゲーションの画面に切り換えるとき

オーディオ画面表示中に

現在地 押す
(リモコン→「現在地」)

- オーディオの音は出たまま、ナビゲーション画面 (現在地) に切り換わります。ナビゲーションの音声・映像のみ出力したいときは、オーディオをOFFにする。(上記)
- ナビゲーション画面でオーディオの動作状態を確認するときは、リモコンの「DISPLAY」を押す。動作状態を消去するときは、再度、リモコンの「DISPLAY」を押す。
- オーディオ画面に戻るには、AUDIO を押してください。

ディスクの出し入れ

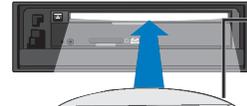
■ ディスクを入れる

1 OPEN 押す
● ふたが開く。



ナビゲーションユニット

2 ディスクを入れる。
3 ふたを閉める
● 自動で再生が始まる。



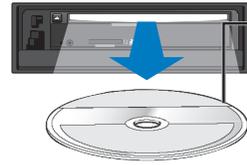
ラベル面を上

■ ディスクを取り出す

1 ふたを開け、
▲ 押す
● ディスクが出る。



2 ディスクを取り出す
3 ふたを閉める



CD・MP3/WMAを聴く

「再生できるディスク」(P.172)を、よくお読みください。

オーディオ
メニュー
から(P.76)

■ CDの基本操作 CD再生画面

録音を開始する/中止する※1



- 曲のリストを表示
- CD設定画面を表示
- 曲を頭出し(リモコン→「**◀**」「**▶**」)
- タッチし続けている間、早送り・早戻し(リモコン→「**◀**」「**▶**」押し続ける)
- ランダム再生(P.79)時に「**◀**」を選んでも、再生中の曲しか頭出しできません。

※1 デジタル録音モード(P.80)が「SELECT」のときのみ表示。

CDタイトル表示について

音楽CDを入れると、本機内の音楽データベース(Gracenote 音楽認識サービスのデータベースの抜粋)を検索し、情報があれば、アルバム名・曲名などを表示します。

- データベースに一致する情報がない場合、異なるタイトル情報を表示することがあります。そのまま本機のHDDに録音した場合は、手動でタイトル情報を入力しなおしてください。(P.86)
- CD-TEXT 情報があるCDを入れた場合、データベースに情報があってもCD-TEXT 情報を優先してタイトル表示します。
- タイトルを表示して再生するまで、しばらく時間がかかる場合があります。

お知らせ

- 音楽CDを入れると、自動的に本機のHDDにAACファイル形式で録音されます。(P.80「CDダイレクト録音」)
- 自動的に録音しないするには、デジタル録音モードを「SELECT」に設定してください。(P.80)
- ナビゲーション画面表示中にCDを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。CDの画面に切り換えるには、**AUDIO**を押してください。
- 5.1 Music Disc(DTS-CD)の場合、下記の動作はできません。
 - ・早送り/早戻し
 - ・曲リストの表示
 - ・CDタイトル表示
 - ・録音

オーディオ
メニュー
から(P.76)

■ MP3/WMAの基本操作 MP3/WMA再生画面

曲情報/フォルダ情報を表示



- 選曲方法を選んで再生
- MP3/WMA設定画面を表示
- 曲を頭出し(リモコン→「**◀**」「**▶**」)
- タッチし続けている間、早送り・早戻し(リモコン→「**◀**」「**▶**」押し続ける)
- ランダム再生(P.79)時に「**◀**」を選んでも、再生中の曲しか頭出しできません。
- リモコンの「**⏪**」「**⏩**」を押すと、フォルダの頭出しができます。

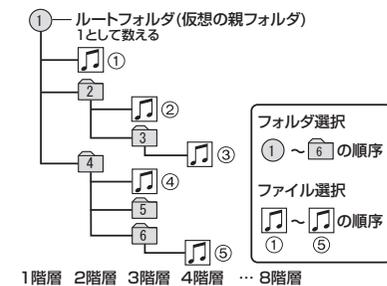
MP3/WMAタイトル表示について

- 挿入したディスクにMP3/WMAのタグ情報がある場合は、「**曲情報**」を選んでアーティスト名・曲名などを表示できます。
- Gracenote 音楽認識サービスを利用したアルバム名・曲名などの検索表示はできません。

MP3/WMAファイルの再生について

- MP3/WMAファイルが入ったフォルダのみ表示されます。
- ライティングソフトがフォルダやファイルを並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のCDでも、使用する機器(プレーヤー)により異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせにより、正常な再生や文字の表示ができない場合があります。

階層と再生順序のイメージ(例)



お知らせ

- HDDへの録音はできません。
- ナビゲーション画面表示中にCD-Rを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。MP3/WMAの画面に切り換えるには、**AUDIO**を押してください。

リストから曲を選ぶ

CD	<ol style="list-style-type: none"> 1 選曲する 2 曲を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● 選んだ曲が再生されます。 ● 録音済みの曲には、HDDが表示されます。 ● 再生中の曲は橙色で表示されます。 ● 5.1 Music Disc(DTS-CD)では操作できません。
MP3/WMA	<ol style="list-style-type: none"> 1 選曲する 2 選曲方法を選ぶ 3 再生したいフォルダの再生 4 曲を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● 再生中リスト再生中のフォルダの曲リストを表示(手順4へ) ● フォルダフォルダ選択画面を表示(手順3へ) ● フォルダの先頭から再生されます。 ● 再生中のフォルダは橙色で表示されます。 ● フォルダをタッチすると、選んだフォルダの曲リストが表示されます。(手順4へ) ● 選んだ曲が再生されます。 ● 再生中の曲は橙色で表示されます。

条件を選んで再生する (リピート/ランダム/スキャン)

CD・MP3/WMA	<ol style="list-style-type: none"> 1 設定 2 再生する条件を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● CD設定画面またはMP3/WMA設定画面が表示されます。 ● 条件は1つしか選べません。 <p>繰り返し再生する(リピート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全曲を繰り返し再生 すべて ● 再生中のフォルダ内の曲を繰り返し再生 フォルダ(MP3/WMAのみ) ● 再生中の曲を繰り返し再生 1曲 <p>順不同に再生する(ランダム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全曲を順不同に再生 すべて ● 再生中のフォルダ内の曲を順不同に再生 フォルダ(MP3/WMAのみ) <p>曲を探す(スキャン)</p> <p>各曲を約10秒ずつ再生。(一周すると元の曲の先頭から通常再生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全曲をスキャン すべて(CDの場合) ● フォルダの先頭の曲のみスキャン すべて(MP3/WMAの場合) ● 再生中のフォルダ内の曲をスキャン フォルダ内(MP3/WMAのみ)
------------	---

曲情報を見る

MP3/WMA	<ol style="list-style-type: none"> 1 曲情報 <ul style="list-style-type: none"> ● 曲情報を表示。 ● フォルダ情報表示に戻るとき 情報
---------	--

CDから録音する

録音方法
を選ぶ
(デジタル録音モード)

CD設定画面から (P.79)

①

録音方法を選ぶ

- 自動的に全曲を録音するとき **AUTO**
- 曲を選んで録音するとき **SELECT**
(太字はお買い上げ時の設定です)

準備: デジタル録音モードを「AUTO」に設定する。(上記)

①

音楽CDを入れる

- 自動的に録音を開始。
- 録音状態表示について
REC (赤): 録音中
REC (灰): 録音準備中
WAIT *1: 録音データ解析中のため、録音一時停止表示なし
表示なし: 録音していない
- リスト表示中、録音済みの曲には、**HDD**が表示されます。

■録音を中止するとき

CD設定画面 (P.79) で、

SELECT

※1 録音後に録音データの曲調解析を行うため、連続でCDを録音する場合、解析状況により **WAIT** と表示され録音を一時停止することがあります。解析状況を確認してください。(P.81)

自動的に
音楽CDの
全曲を録音
する
(CDダイレクト
録音)

準備: デジタル録音モードを「SELECT」に設定する。(上記)

①

音楽CDを入れ、録音

②

リストから曲を選び、完了

- 完了 (リモコン→「ビュー」)
- 選んだ曲の録音を開始。
 - 複数の曲を選ぶこともできます。(もう一度選ぶと、解除)
- 全曲選ぶとき **全選択** (リモコン→「青」)
- 全曲解除するとき **全解除** (リモコン→「赤」)

■録音中に、録音を中止するとき

録音中止曲を選んで
録音する
(手動録音)

■音楽CDの録音について

- 本機の動作状態に応じて、約3倍速から最大約7倍速で録音されます。速度は自動で切り換わります。
- AACファイルに変換され、HDDに保存されます。
- アルバム/曲の情報は、Gracenoteデータベースから検索して保存されます。
- ナビゲーション画面表示中は、地図上に録音状態 (**REC**) が表示されます。
- CD-TEXT情報のある音楽CDを録音しても、CD-TEXT情報はタイトル情報として保存されません。
- CD-R/RWに録音されたMP3/WMAファイルや、5.1 Music Disc(DTS-CD)は、本機に保存(録音)できません。
- SDメモリーカードからは、MP3/WMAファイルを保存することができます。(P.148)
- 録音された音楽データが正しく再生されない(音飛びする)場合などは、いったん音楽データを消去(P.87)してから、再度録音してください。
- 保存(録音)した音楽データは、著作権保護のため、バックアップを取ることはできません。
- 録音に関する制限事項は(P.177)

HDD MUSICを聴く

準備: 本機のHDDに録音をしてください。

- 音楽CDを録音する
音楽CDを本機に挿入して録音してください。(P.80)
- MP3/WMAを録音する
MP3/WMAファイルをSDメモリーカードから本機に保存してください。(P.148)

■曲調解析について

HDDに曲を録音する際、サビ部分のテンポやリズムなどから曲の印象を自動的に解析します。

- 解析結果は、お客様の主観とは異なる場合があります。
 - 解析結果は、編集できません。
 - 曲調解析には、ミュージックソムリエ技術*2を使用しています。
 - SDメモリーカードから読み込んだ音楽データは曲調解析されません。
- ※2 ミュージックソムリエ技術とは、ワインを選ぶソムリエのように、そのときのフィーリングに合った曲を選べる音楽選曲インタフェース Musicsommelier 技術です。

■再生方法について

本機のHDDに保存した音楽データを使って、いろいろな再生ができます。

- アルバム再生 (P.82)
- アーティスト再生 (P.82)
- プレイリスト再生 (P.82)
- ジャンル再生 (P.82)
- フィーリングリンク再生 (P.82)
- カテゴリ再生 (P.83)
- 曲の条件を絞り込んで再生。(条件は、下記「カテゴリ詳細設定条件の一覧」)
- お気に入り再生 (P.83)
- TOPリクエスト25再生 (P.83)

カテゴリ詳細設定条件の一覧

項目	内容	
フィーリング	楽しい	楽しい感じの曲
	にぎやか	にぎやかな感じの曲
	癒される	癒される感じの曲
	切ない	切ない感じの曲
	しない	フィーリングで指定しない
年代	70年代	70年代までの曲
	80年代	80年代の曲
	90年代	90年代の曲
	00年代	2000年以降の曲
	しない	年代で指定しない
カテゴリ	TV/CM	CMやドラマ主題歌などで使われた曲
	LOVE SONGS	ラブソング
	レジャー	季節に合わせた曲
	HIT!	ヒットした曲
	しない	カテゴリで指定しない

オーディオメニューから (P.76)

■HDD MUSICの基本操作
HDD MUSIC再生画面

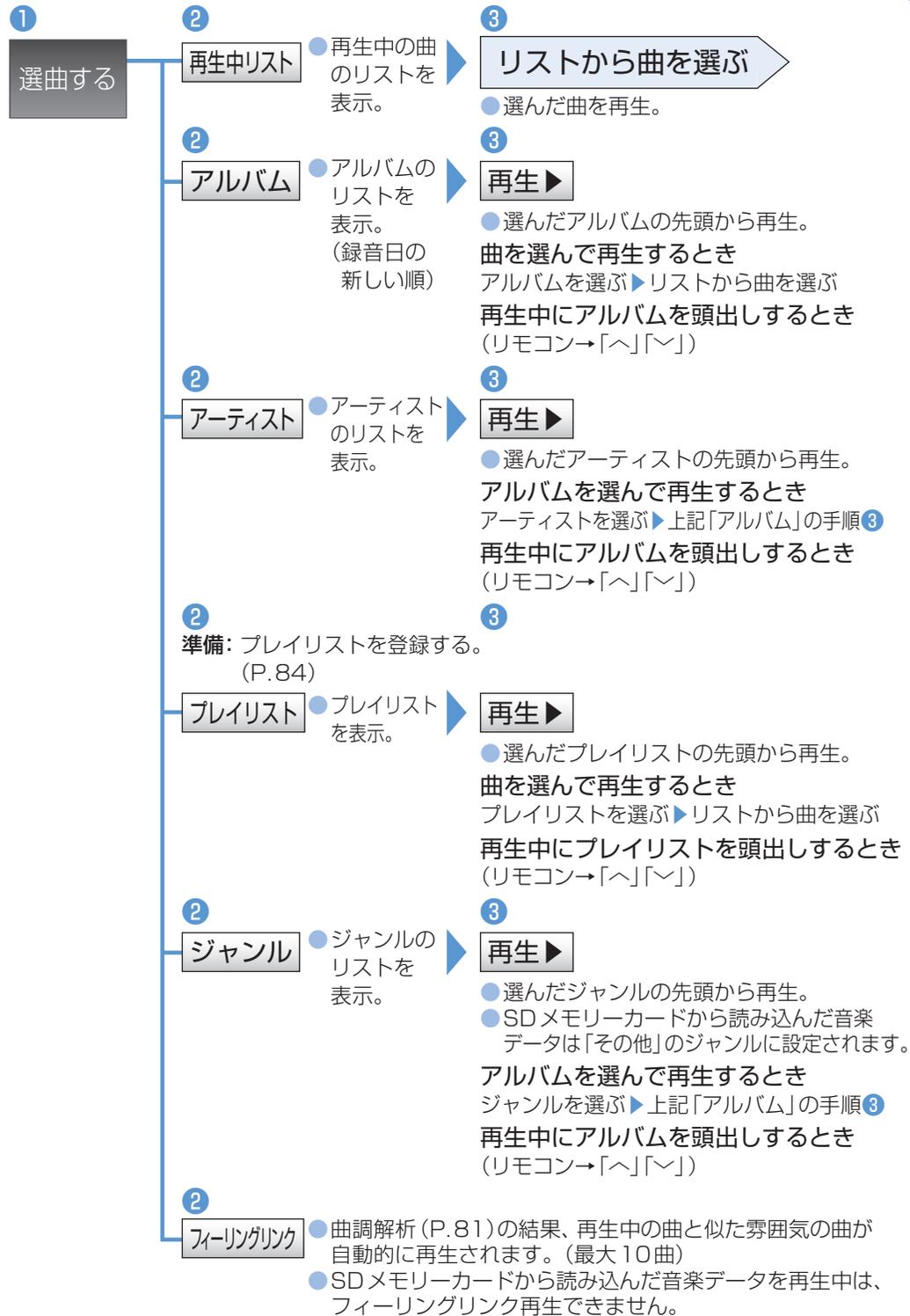
曲を頭出し (リモコン→「<<<」「>>>」)

- タッチし続けている間、早送り・早戻し (リモコン→「<<<」「>>>」押し続ける)
- ランダム再生 (P.83) 時に「<<<」を選んで、再生中の曲しか頭出しできません。

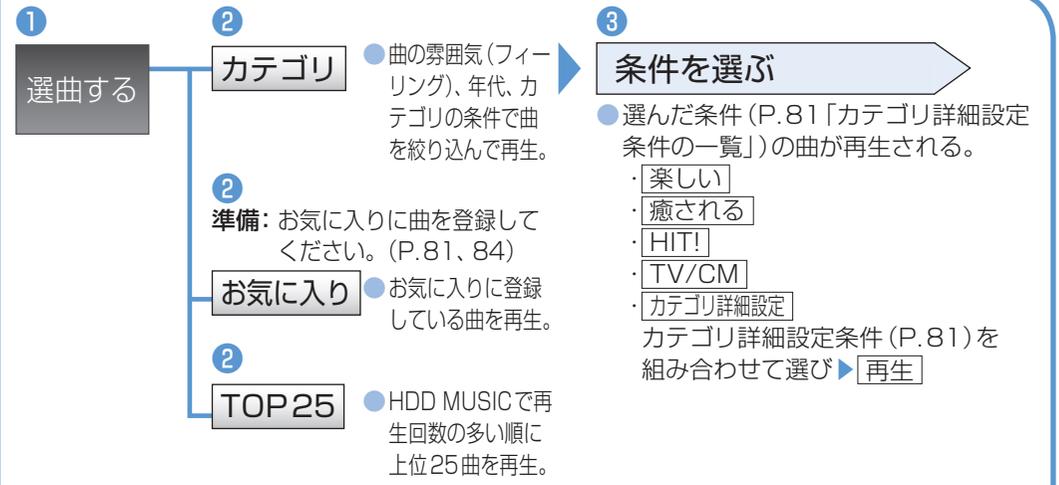
- ※3 ・録音データ解析中のみ
・録音データの曲調解析 (左記) の状況が確認できます。
・解析が終了すると、録音データを再生できます。
・解析中の録音データがCD3枚分表示されているときは、新たに録音できません。CD1枚分の空きができるまでお待ちください。

HDD MUSIC再生画面から (P.81)

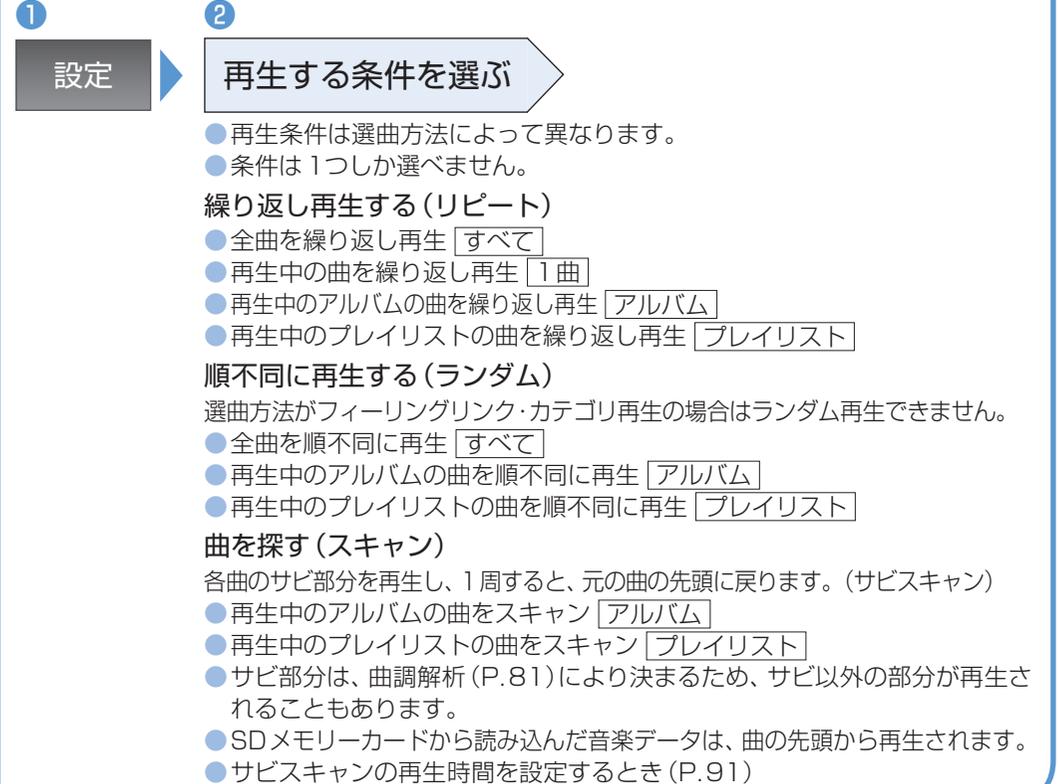
選曲方法を選んで再生する



選曲方法を選んで再生する



条件を選んで再生する(リピート/ランダム/スキップ)



お知らせ

- 「フィーリングリンク」では、SDメモリーカードから読み込んだデータは選曲対象になりません。
- 「フィーリング」は曲調解析(P.81)の結果を、「年代」「カテゴリ」はMCDB情報(編集不可)を元にしてしています。
- 下記の音楽データは、カテゴリ再生されません。
 - ・SDメモリーカードから読み込んだもの
 - ・MCDB情報(年代/カテゴリ)がないもの
 - ・「カテゴリ再生、Music Stylistで選曲の対象にする」(P.86)が「しない」に設定されている
- 「TOP25」では、再生回数が同じ場合、録音が古い曲を優先して登録、再生します。
- 「TOP25」では、曲の4割を再生した場合に1回の再生と数えます。[サビスキップ(上記)、ちよい聴き(P.85)での再生は除く]
- 「TOP25」での再生中は、再生順が更新されません。(次回「TOP25」を選んだときに更新)
- 「TOP25」では、録音曲が少ない場合、再生回数が0回の曲も再生されます。

プレイリストを編集する

HDDに保存した曲の中からプレイリスト（あなたが選んだ曲の組み合わせ）を編集できます。

オーディオメニューから
(P.76)

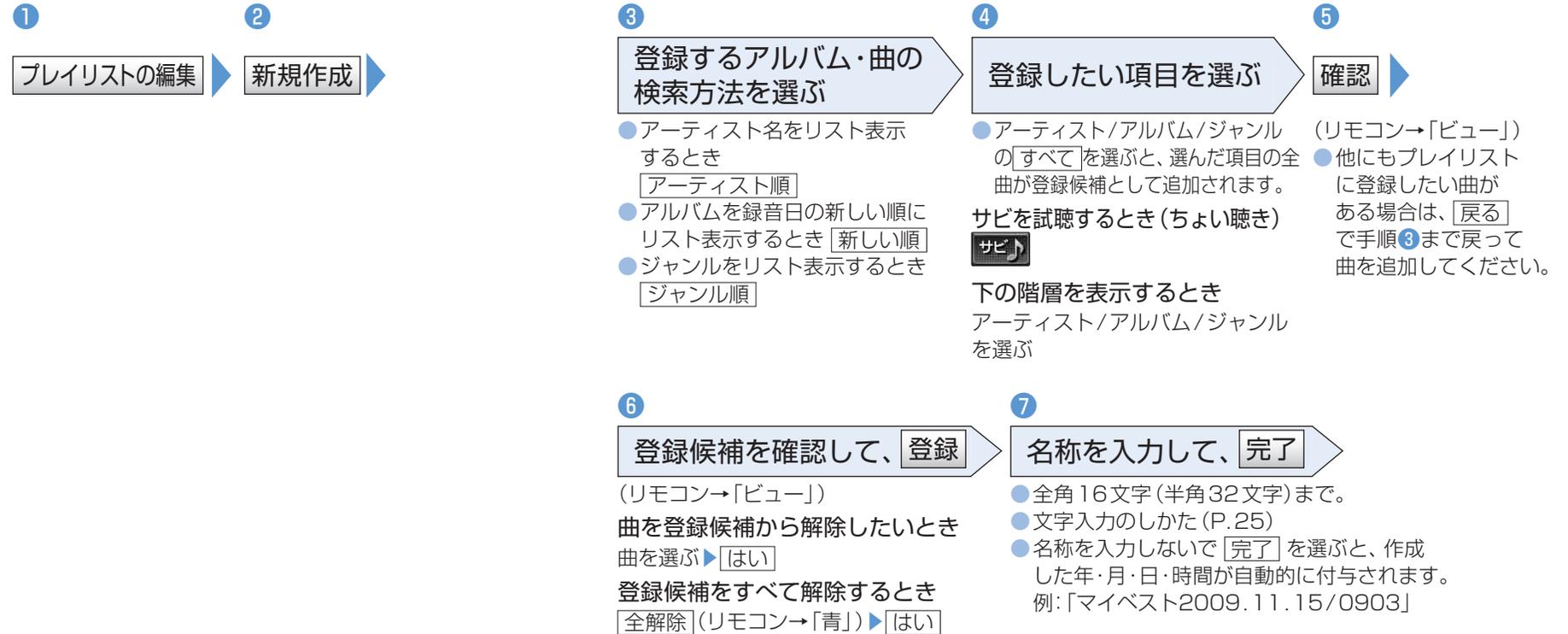


設定

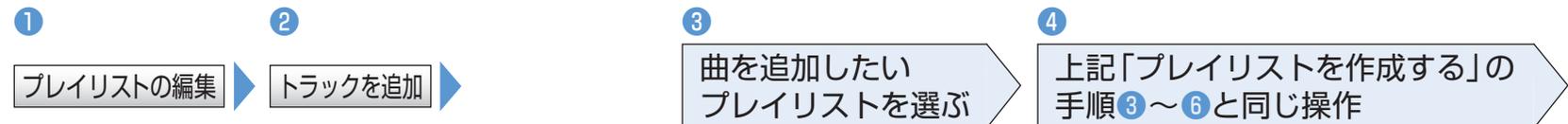
HDD MUSIC 設定画面



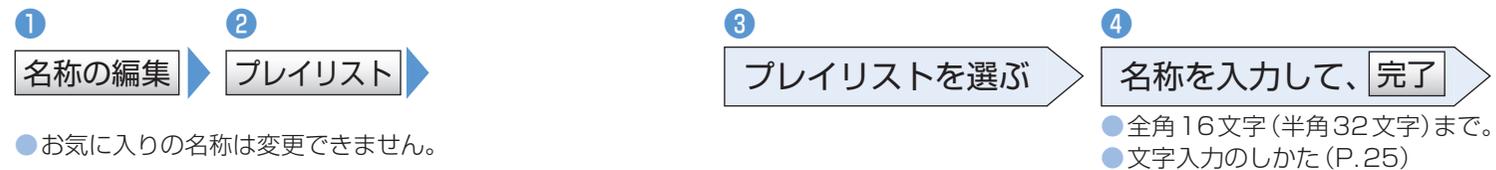
プレイリストを作成する



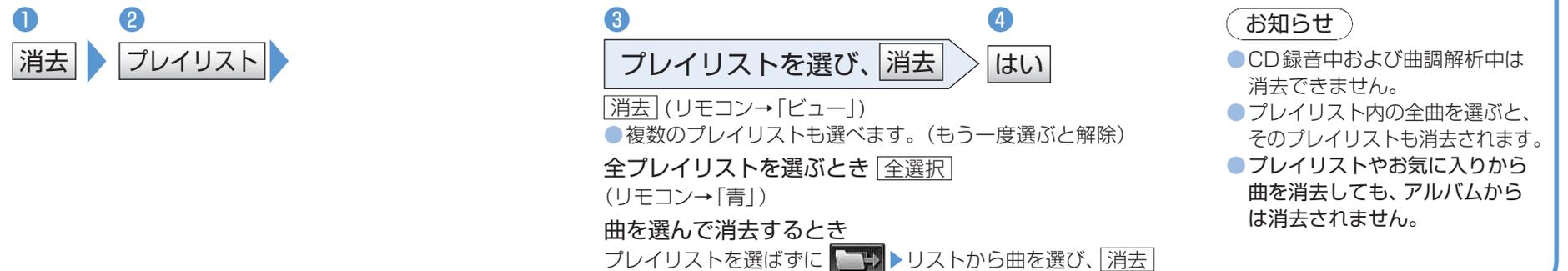
プレイリストやお気に入りの曲を追加する



プレイリストの名称を変更する



プレイリストやお気に入りの曲を消去する



お知らせ

- プレイリストは、最大98個作成できます。(ひとつのプレイリストあたり最大99曲)

アルバム/曲の情報を編集する

アルバム名や曲名、アーティスト名などを編集できます。

HDD MUSIC 設定画面から (P.84)

1 名称の編集

2 編集したいアルバムを探す

- アーティスト名から探す
[アーティスト順] ▶
アーティストを選ぶ
- アルバムから探す
(録音日の新しい順)
[新しい順]
- ジャンルから探す
[ジャンル順] ▶
ジャンルを選ぶ

3 編集したいアルバム/曲を選ぶ



- アルバムを選ぶとき
- 曲を選ぶとき (表示されるリストから選ぶ)

お知らせ

- 手動で文字・数字入力して更新したアルバム・曲の情報は、Gracenote データベースには反映されません。(同じCDを入れても、手動で入力した内容は反映されません)
- ※1 全角16文字(半角32文字)まで。
- ※2 半角32文字まで。
- ※3 下記の準備が必要です。
1. BLUETOOTH対応の携帯電話を登録する (P.124)
2. プロバイダを設定する (P.132)
3. 携帯電話をダイヤルアップ 接続待機状態にする
- ※4 音声認識機能では、この読みで曲を検索できます。(P.141)

アルバムの情報を編集する

曲の情報を編集する

アルバムの名称を変更	1 編集 ▶	2 ※1 アルバム名を入力し、完了 ▶	3 完了 ▶
アーティストの名称を変更	1 編集 ▶	2 変更方法を選ぶ ● [マニュアル入力する] ▶ アーティスト名を入力し*1、完了 ▶ ● [リストから選択する] ▶ リストからアーティストを選ぶ	3 完了 ▶
アーティスト名の読みを変更	1 編集 ▶	2 ※2 アーティスト名を入力し、完了 ▶	3 完了 ▶
ジャンルを変更	1 編集 ▶	2 アルバムのジャンルを選ぶ ▶	3 完了 ▶
カテゴリ再生 (P.83)、Music Stylist (P.92) で選曲の対象にする	1	2 する / しない を選ぶ ▶	3 完了 ▶
Gracenote データベースを使ってアルバム情報を変更	1	2 取得方法を選ぶ ● HDD内のデータベースから再取得するとき [内蔵データベース検索] ● 新譜などデータベースにない情報をインターネット経由で取得するとき (P.90) ※3 [オンライン検索] ▶ [接続する]	3 完了 ▶
トラック(曲)の名称を変更	1 編集 ▶	2 ※1 曲名を入力し、完了 ▶	3 完了 ▶
アーティストの名称を変更	1 編集 ▶	2 変更方法を選ぶ ● [マニュアル入力する] ▶ アーティスト名を入力し*1、完了 ▶ ● [リストから選択する] ▶ リストからアーティストを選ぶ	3 完了 ▶
アーティスト名の読みを変更 ※4	1 編集 ▶	2 ※2 アーティスト名を入力し、完了 ▶	3 完了 ▶
アーティストの愛称読みを変更 ※4	1 編集 ▶	2 ※2 アーティストの愛称を入力し、完了 ▶	3 完了 ▶
曲のジャンルを変更	1 編集 ▶	2 曲のジャンルを選ぶ ▶	3 完了 ▶

変更を反映する範囲を選ぶ

- アルバム内の全曲 [全トラックに反映]
- アルバムのみ [アルバムのみ]

手順①で検索結果が複数あるとき
アルバムを選び、[登録]
● SDメモリーカードから読み込んだ音楽データのアルバム情報は取得できません。

変更を反映する範囲を選ぶ

- アルバム内の全曲 [全トラックに反映]
- 編集中の曲のみ [編集中のトラックのみ]

HDD MUSIC 設定画面から (P.84)

アルバム/曲を消去する

- 消去したデータは、元に戻せません。消去は、十分確認のうえ行ってください。
- 消去中は、エンジンを切らないでください。本機が正しく動作しなくなる場合があります。

- 1 消去 ▶
- 2 消去したい項目を探す
● アーティスト名から探す [アーティスト順]
● アルバムから探す (録音日の新しい順) [新しい順]
● ジャンルから探す [ジャンル順]
● HDD内の全曲 [全消去] (手順④へ)

- 3 消去したい項目を選び、消去 ▶
- 4 はい ▶

消去 (リモコン→「ビュー」)
● 複数の項目を選ぶこともできます。(もう一度選ぶと解除)

現在検索したリスト内の項目を全て選ぶとき
[全選択] (リモコン→「青」)

下の階層を表示するとき [右矢印]
(項目未選択のときのみ)

お知らせ

- 消去した曲がプレイリスト (P.84) やお気に入り (P.81) にも登録されている場合は、プレイリストやお気に入りからも消去されます。
- CD録音中や曲調解析中は消去できません。

本機のGracenoteデータベースにないタイトルの情報を、パソコンのタイトル検索ソフトを使ってGracenoteサーバーにアクセスし、取得できます。

■ タイトル検索ソフトの動作環境

- OS:
Windows® 98SE/Windows® Me/
Windows® 2000 Professional
Service Pack 4/Windows® XP
(Home/Professional) Service
Pack 2/Windows Vista®
(Ultimate/Business/Home
Basic/Home Premium)
- CPU:
Intel MMX Pentium 266 MHz
以上
(推奨Pentium II 300 MHz以上)
- メモリ:
64 MB以上(推奨128 MB以上)
- HDD:
200MB以上の空き容量
- インターネット接続環境:
推奨64 Kbps以上
- ディスプレイ/ビデオボード:
解像度 推奨800×600ピクセル、
表示色 推奨65000色以上
- その他:
SDメモリーカードリーダー/
ライターと、空き容量が4MB
以上のSDメモリーカードが
別途必要です。

お知らせ

- タイトル検索ソフトは、必ず本機のPCツール出力で保存されるTitleFinderVer2.exeを使用してください。
- 「PCツール出力」(右記)時に保存されるテキストファイル(README.TXT)も併せてご覧ください。

タイトル検索ソフトをパソコンにインストールする

本機側

準備: SDメモリーカードを本機に入れる
SDメモリーカード画面から(P.148)

- 1 SDメモリーカードへ保存する
- SDメモリーカード保存画面を表示

パソコン側

準備: タイトル検索ソフトの入ったSDメモリーカードをパソコンに入れる

- 1 SDメモリーカード内の情報を任意のフォルダにコピーする
- タイトル検索ソフト(TitleFinderVer2.exe)と管理情報(Regist.dat)は、必ず同じフォルダに保存する。
 - 初めての場合は、管理者(Administratorsのメンバー)としてWindowsにログオンする。(Windows Vista®では管理者権限がなくても利用可能)

- 2 PCツール出力

- SDメモリーカードに、タイトル検索ソフト(TitleFinderVer2.exe)と管理情報(Regist.dat)、テキストファイル(README.TXT)が保存される。出力先フォルダ: PRIVATE¥CustomUDT

- 2 コピーしたタイトル検索ソフトのアイコンをダブルクリックする
- 3 「接続設定」
- 4 インターネット接続の設定をする※1
- 5 「設定」

- 設定が保存される。
- ※1 ブラウザが
- Internet Explorerのときは、「Internet Explorerの設定を使用する」にチェックする。
 - Internet Explorer以外のときは、「Internet Explorerの設定を使用する」のチェックを外し、各項目を設定する。
 - LAN接続のときは、「LAN接続を使用」にチェックする。
 - ダイアルアップ接続のときは、「ダイアルアップ接続を使用」にチェックの後、接続先を選ぶ。
(「タイトル取得の完了時に回線を自動で切断」をチェックすると、回線は取得後、自動切断される。)
 - プロキシサーバーを使用するときは、「プロキシサーバーを使用」にチェックの後、サーバーのアドレスとポート番号を入力する。
 - 接続設定のお問い合わせは、ご契約のプロバイダへ。

本機のタイトル情報をSDメモリーカードに書き出す

本機側

準備: SDメモリーカードを本機に入れる
SDメモリーカード保存画面から(上記)

- 1 録音曲タイトル取得
- PCツールを一度も出力していないとき出力確認画面が表示される▶確認
- PCツールがSDメモリーカードに保存される。

- 2 タイトル情報を取得したいアルバムを選び、「完了」
 - 3 はい
- 完了(リモコン→「ビュー」)
- 複数のアルバムも選べます。(もう一度選ぶと解除)
- 選択を全解除するとき [全て解除](リモコン→「青」)
タイトルが自動付与されていないアルバムすべてを選ぶとき
[タイトル無し全選択](リモコン→「赤」)
- SDメモリーカードに取得するための情報が保存される。(ファイル名: export.dat)
出力先フォルダ:
PRIVATE¥CustomUDT

Gracenoteサーバーからタイトル情報を取得する

パソコン側

準備: タイトル検索ソフトの入ったSDメモリーカードをパソコンに入れる

- 1 パソコンのタイトル検索ソフトを起動し、「参照」

- 2 SDメモリーカードに保存した「export.dat」を選び、「開く」
 - 3 「Fileからデータベース検索」
 - 4 アルバムの情報が複数ある場合のみ
 - 5 アルバム名を選び、「選択」
- 「保存」
- モデム接続の場合は、ダイアルアップ接続の確認画面で、接続先・ユーザー名・パスワードを入力する。
 - 「export.dat」と同じ階層に、取得したタイトル情報が保存される。(ファイル名: import.dat)
 - SDメモリーカードの「PRIVATE¥CustomUDT」以外のフォルダに保存すると、タイトル情報を付与できません。
 - 「export.dat」ファイルを取得したナビゲーションでデータを更新してください。別のナビゲーションにそのデータを保存しても利用できません。

取得したタイトル情報を本機に保存する

本機側

準備: 取得したタイトル情報の入ったSDメモリーカードを本機に入れる。

SDメモリーカード画面から(P.148)

- 1 SDメモリーカードから読み込む
- 2 Gracenoteデータベース更新
- 3 はい

- 本機のGracenoteデータベースが更新され、自動的にタイトル情報が付与される。

タイトル情報を取得する

パソコンにインストールしたタイトル検索ソフト(P.88)を使って、お持ちのCDからタイトル情報を取得できます。取得したタイトル情報を本機に登録すると、CDを録音する際に、タイトル情報を付与できます。

CDから

パソコン側

- 準備: 1. SDメモリーカードをパソコンに入れる。
2. タイトル情報を取得したいCDをパソコンに入れる。
- 1 パソコンのタイトル検索ソフトを起動する
 - 2 CDを入れたドライブを選ぶ
 - 3 「CDからデータベース検索」を選ぶ
 - 4 複数の候補があるとき
アルバム名を選び、「選択」を選ぶ
 - 5 ダウンロードが完了したら
 - 6 「保存」を選ぶ
タイトル情報の保存先を選び、「OK」を選ぶ
●必ず、SDメモリーカードの「PRIVATE¥CustomUDT」フォルダに保存してください。

本機側

- 7 「取得したタイトル情報を本機に保存する」(P.88)

新譜などのアルバム情報がない音楽データに、インターネット経由でタイトル情報が付与できます。

準備:

1. BLUETOOTH対応の携帯電話を登録する。(P.124)
2. プロバイダを設定する。(P.132)
3. 携帯電話をダイヤルアップ接続待機状態にする。

インターネットから
(オンライン検索)

- 1 P.86 手順1~2を行う
- 2 情報を付与するアルバムを選ぶ
- 3 オンライン検索
- 4 接続する
●インターネットに接続し、タイトル検索を開始。
- 5 アルバムの情報が複数の候補があるとき
- 6 リストからアルバムを選ぶ
登録

HDD MUSICの設定をする

(太字はお買い上げ時の設定です)

HDD MUSIC 設定画面から (P.84)

詳細設定



- **クロスフェード**とは
前の曲の最後と次の曲の最初の部分を重ね合わせて、スムーズに曲を再生します。
- **録音曲再生レベル自動調整**とは
録音したCDの音が小さい場合に、音量を大きく調整して再生します。

お知らせ

- 録音するCDに記録されている音が大きい場合には、小さく調整されません。
- SDメモリーカードから読み込んだ音楽データは調整されません。

クロスフェードを設定する

- 1 **する / しない** を選ぶ

録音曲再生レベル自動調整を設定する

- 1 **する / しない** を選ぶ

サビスキャン (P.83) の再生時間を調整する

- 1 **< >** で調整する

●調整範囲: 20秒~60秒

お知らせ

- サビの開始が曲の終わり近くの場合は、サビスキャンは設定した時間より短くなります。

録音の音質を選ぶ (CD録音のみ)

- 1 **音質を選ぶ**

- 音質を重視して録音するとき **Hi-bitモード**
- 標準の音質で録音するとき **標準モード**

お知らせ

- **Hi-bitモード**で録音すると、**標準モード**よりも録音できる曲数が減ります。
- CD録音中や曲調解析中は変更できません。
- 録音済みの曲は、録音の音質を変更しても、重複して録音できません。

季節・場所・時間などに合わせて、ぴったりの曲をHDD MUSICから自動的に10曲選び、トークを交えつつ、ラジオの音楽番組のような雰囲気再生します。

Music Stylistの再生例

●オープニング



グッドモーニング！
DJのTOGGYです。
それでは、今朝は
この曲からスタート！

トークに連動しておすすめ
の曲が再生される。

●中締めトーク



こんな曲はいかがで
しょうか？
Enjoy this track!

トークに連動しておすすめ
の曲が再生される。

●エンディング



早いもので、あと
4曲でお別れです。
お相手はTOGGY
でした。ではまた！

トークに連動しておすすめ
の曲が再生される。

●次のオープニング



ミュージックスタイ
リストDJのLILY
です。暑中お見舞い
申し上げます。

トークに連動しておすすめ
の曲が再生される。

オーディオメニューから (P.76)



■ Music Stylistの基本操作

Music Stylist再生画面



スナップ
エフェクター
を再生
(P.93)

- 曲を頭出し
(リモコン→「◀◀」「▶▶」)
- タッチし続けている間、早送り・早戻し
(リモコン→「◀◀」「▶▶」押し続ける)

お知らせ

- 10曲すべての再生が終了すると、再度曲を選び直して再生します。
- 録音されている曲が10曲未満の場合は、オープニングトークのみ行われます。
- トーク中に電源を切って再度電源を入れた場合は、途中のトークは再生せずに次の曲を再生します。
- 下記の音楽データは、Music Stylistでは再生されません。
 - ・MCDB情報(年代/カテゴリ)がない
 - ・「カテゴリ再生、Music Stylistで選曲の対象にする」(P.86)が「しない」に設定されている
- 次のオープニングトークが始まると、それ以前の曲への頭出しはできません。
- 一度再生したトークへ頭出ししたとき、前回再生時とトーク内容が異なる場合があります。

本機に録音した曲のテンポや曲調に合わせて、保存されている静止画を再生します。

お知らせ

- 再生中に表示される曲名やアーティスト名は、一部表示されない場合や「Snap Effector」と表示される場合があります。
- 電源を切ったり、オーディオを切り換えるとスナップエフェクターは終了します。

準備: 静止画データを保存してください。(P.116)

HDD MUSIC再生画面 (P.81)/
Music Stylist再生画面 (P.92) から

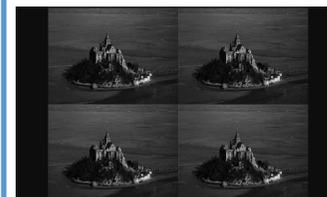


スナップ エフェクター Snap Effectorの再生例

- 静止画をバックにタイトルが表示されます。



- 曲に合わせてエフェクトがかかります。



再生する

- 1 再生
 - 終了するときは、画面をタッチする。

再生する 静止画を 設定する

- 1 画像を選ぶ
- 2 設定項目を選ぶ

手順②の設定項目

- サンプル 本機にあらかじめ保存されている静止画のみを順不同に表示。
- ランダム 保存したすべての静止画を順不同に表示。
- 新しいフォルダ 作成日の新しいフォルダから順に表示。
- 指定フォルダ スナップエフェクター設定 (P.116) で指定したフォルダを、作成日の古い順に表示。

オーディオメニューから
(P.76)

設定

BLUETOOTH Audio
設定画面BLUETOOTH
Audio 機器を
本機に
登録する
(5台まで)本機側の
操作1
BLUETOOTH Audio
機器設定2
登録 ▶ この後の操作は、BLUETOOTH Audio 機器側で行ないます。
● BLUETOOTH Audio 接続中画面を表示。BLUETOOTH
Audio
機器側
の操作3
周辺の
BLUETOOTH
対応機器を探す

- ① [MENU] を押す
 - ② 「LifeKit」を選ぶ
 - ③ 「Bluetooth」を選ぶ
 - ④ ・新規で登録するとき
「新規機器登録」を選ぶ
・「Strada」が登録済みするとき
「登録機器リスト」を選び、
「Strada」を選ぶ(手順 6 へ)
- 周辺の BLUETOOTH 対応
機器が検索される。

4
BLUETOOTH Audio 機器に
登録する機器 (本機)
を選ぶ

- ① 「Strada」を選ぶ
- ② 「YES」を選ぶ

5
本機の
BLUETOOTH
パスキーを入力する

- ① BLUETOOTH パスキーの
テキストボックスを選ぶ
- ② 本機の BLUETOOTH パスキーを
入力し「確定」を選ぶ
(お買い上げ時の設定:0000)

6
本機と BLUETOOTH Audio 機器を
接続する

- ① 「オーディオ」を選ぶ
 - ② 「NO」を選ぶ
- 本機に、機器登録完了の表示が
出るまで、本機を操作したり、電
源を切ったりしないでください。

接続する
BLUETOOTH
Audio 機器を
変更する1
BLUETOOTH Audio
接続機器選択2
接続したい BLUETOOTH Audio
機器を選び、完了 ▶ この後の操作は、BLUETOOTH Audio 機器側で行います。
P.96「本機と BLUETOOTH Audio 機器を手動接続する」
の手順 2 へ

- 接続中の BLUETOOTH Audio 機器には、**BLUETOOTH** と表示されます。
BLUETOOTH Audio 機器の詳細情報を見るとき **詳細情報表示**

BLUETOOTH
Audio の
登録データを
削除する1
BLUETOOTH Audio
機器設定2
削除 ▶

- BLUETOOTH Audio の登録データを
削除すると、元に戻せません(再度登録
が必要になります)。削除は、十分確認
のうえ行ってください。

3
削除したい BLUETOOTH
Audio 機器を選び、完了 ▶4
はい

- BLUETOOTH Audio 機器の
詳細情報を見るとき
詳細情報表示

- 削除完了のメッセージが表示され
るまで、本機の電源を切らないで
ください。登録データの削除が正
しく行われない場合があります。

お知らせ

- ハンズフリーの登録データ
は、この操作では削除されま
せん。ハンズフリーの登録
データを削除するとき
(P.124)

BLUETOOTH
パスキーを
変更したいとき1
BLUETOOTH Audio 機器設定 ▶2
変更 ▶3
BLUETOOTH パスキーを入力し、
完了 ▶

- 4~8桁の数字を設定できます。
- **修正** を選ぶと、1文字消去されます。
- リモコンの数字キーでも数字を入力できます。

- BLUETOOTH パスキーとは
BLUETOOTH による接続を、
他人に許可なく使われない
ためのパスワードです。
接続機器によってはあらかじめ
設定されており、変更できない
場合があります。

お知らせ

- 本書では、BLUETOOTH
Audio 機器の操作を、
docomo P-07A を例に説
明しています。
- 操作方法は機器によって異
なります。詳しくは、
BLUETOOTH Audio 機器
の説明書をご覧ください。

オーディオメニューから
(P.76)



お知らせ

- BLUETOOTH Audio とハンズフリーで接続する機器が異なる場合、下記の制限があります。
 - ・BLUETOOTH Audio とハンズフリーの同時接続はできません。
 - ・オーディオが BLUETOOTH Audio 以外の状態で本機の電源を切った場合は、次回起動時に本機と BLUETOOTH Audio 機器は自動的に接続されません。

本機と BLUETOOTH Audio 機器を 自動接続する

準備: BLUETOOTH Audio 機器をオーディオの接続待機状態にする。

①

自動接続

- 自動的に接続できるようになります。
- もう一度選ぶと自動接続を OFF にします。

お知らせ

- BLUETOOTH Audio 機器を接続した状態で本機の電源を切ると、次回起動時に自動的に接続を始めます。
- BLUETOOTH Audio 機器が自動接続機能に対応していない場合はご利用できません。手動で接続してください。(下記)

本機側の 操作

①

接続 ▶

この後の操作は、BLUETOOTH Audio 機器側で行います。

本機と BLUETOOTH Audio 機器を 手動接続する

BLUETOOTH Audio 機器側 の操作

②

本機と 接続する

- ① **[MENU]** を押す
- ② **[LifeKit]** を選ぶ
- ③ **[Bluetooth]** を選ぶ
- ④ **[登録機器リスト]** を選ぶ
- ⑤ **[Strada]** を選ぶ
- ⑥ **[オーディオ]** を選ぶ
 - ・本機と BLUETOOTH Audio 機器が接続される。
- ⑦ **[NO]** を選ぶ

① BLUETOOTH Audioに切り換える オーディオメニューから (P.76)



- オーディオをBLUETOOTH Audioに切り換えると、本機はBLUETOOTH Audio機器との接続を自動的に開始します。
(BLUETOOTH Audio機器が自動接続に対応していて、自動接続をONに設定している場合)
- 接続されない場合は、「手動接続」を行ってください。(P.96「本機とBLUETOOTH Audio機器を手動接続する」)

② BLUETOOTH Audio機器側で 曲を選び、再生する

(例: ミュージックプレーヤー)

- ① **MENU** を押す
- ② 「MUSIC」を選ぶ
- ③ 「ミュージックプレーヤー」を選ぶ
 - ・前回再生した曲の情報がある場合
自動的に再生が開始されます。
曲を変更したいとき
手順④へ
 - ・前回再生した曲の情報がない場合
手順⑤へ
- ④ **OK** を押し、
「プレーヤーメニュー」を選ぶ
- ⑤ 再生する項目を選ぶ
- ⑥ 再生する曲を選ぶ
 - ・選んだ曲を再生します。

■ BLUETOOTH Audioの基本操作 Bluetooth® Audio画面

- 曲を頭出し
(リモコン→「**⏮**」「**⏭**」)
- タッチし続けている間、早送り・早戻し
(リモコン→「**⏮**」「**⏭**」押し続ける)



お知らせ

- docomo P-07Aでは、早送り・早戻しはできません。
- 接続するBLUETOOTH Audio機器によっては、本機から再生/一時停止、早送り・早戻し、頭出しができない場合があります。そのときは、BLUETOOTH Audio機器側で操作してください。
- iモーションの音声も再生できます。iモーションプレーヤーから再生してください。

準備:

SDオーディオが録音されたSDメモリーカードを本機に入れる。

- SDオーディオを録音するには、別売のSD JukeboxまたはSDオーディオ対応ミニコンポ(D-dockなど)やHDDレコーダー(ディーガなど)が必要です。
- ファイル形式については (P.174)

オーディオメニュー から (P.76)



■ SD-Audioの基本操作

- 曲を頭出し
(リモコン→「**⏮**」「**⏭**」)
- ランダム再生(右記)時に
⏮を選んで、再生中の曲しか頭出しできません。
 - 早送り・早戻しはできません。



選曲方法を選んで再生

SD-Audio設定画面を表示

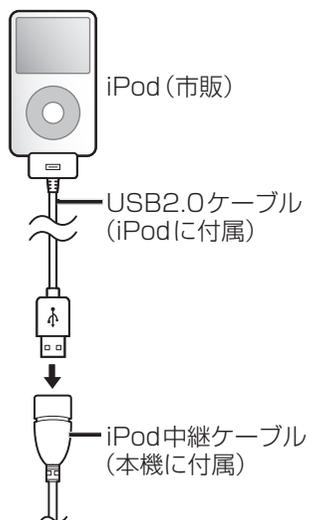
選曲方法を選んで再生する

- ① 選曲する
- ② 選曲方法を選ぶ
 - 再生中リストから選ぶ
再生中リスト ▶ 曲を選ぶ
全曲を再生する
全曲再生
 - プレイリストから探す
プレイリスト ▶ プレイリストを選ぶ*1 ▶ 曲を選ぶ
※1 「再生▶」を選ぶと、選んだプレイリストの先頭から再生。
●再生中にプレイリストを頭出しするとき
(リモコン→「**⏮**」「**⏭**」)

条件を選んで再生する

- ① 設定
 - ② 再生する条件を選ぶ
 - 条件は1つしか選べません。
 - 繰り返し再生する(リピート)
 - 全曲を繰り返し再生*2 **すべて**
 - 再生中の曲を繰り返し再生 **1曲**
 - 順不同に再生する(ランダム)
 - 全曲を順不同に再生*2 **すべて**
 - 曲を探す(スキャン)
 - 各曲を約10秒ずつ再生し、1周すると、元の曲の先頭に戻ります。
 - 全曲をスキャン*2 **すべて**
- ※2 プレイリスト再生中は、再生中のプレイリスト内の全曲が対象となります。

iPodを接続する



- 接続中は、iPod本体では操作できません。
- 本機と接続中は、iPodは充電されます。
- iPhoneも同様に接続できます。

オーディオメニューから (P. 76)



■ iPodの基本操作



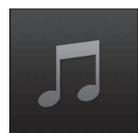
一時停止する (タッチ操作のみ)
● 一時停止中に再度選ぶと、通常の再生に戻る。

選曲方法を選んで再生
iPod設定画面を表示

曲を頭出し (リモコン→「◀◀」「▶▶」)
● タッチし続けている間、早送り・早戻し (リモコン→「◀◀」「▶▶」押し続ける)

アルバムアートワーク

- アルバムアートワーク表示サイズは、iPodの仕様により異なります。
- 以下の場合には下記の画像が表示されます。



- ・接続したiPod内にアルバムアートワークがない。
- ・アルバムアートワーク取得中。
- ・本機でアルバムアートワークを表示できないiPodを接続している。(P. 179)

お知らせ

- 接続可能なiPodおよびiPod再生時の制限について (P. 179)
- iPod/iPhoneの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- 本機はiPhone 3G、iPhone 3GSにも対応しています。
- 本機と接続してiPodを使用中に、iPodのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

お願い

- iPod中継ケーブルにiPod以外のUSB機器を接続しないでください。
- 本機と接続するときは、iPodのリモコンやヘッドフォンなど、iPodのアクセサリを接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- オーディオがiPodのときに、iPodの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因になる場合があります。
- 運転中にiPodが動かないように、ホルダーなどでしっかりと固定してください。
- iPodを車内の温度が高くなる場所に長時間放置しないでください。
- ACCをOFFにした後は、必ずiPodを外してください。iPodの電源が切れず、iPodの電池を消耗することがあります。
- iPodが正しく動作しないときは、iPodを本機から外してリセットし、再度接続してください。
- 接続するiPodの説明書もご覧ください。

選曲方法を選んで再生する

1 選曲する

2 選曲方法を選ぶ

再生中の曲／ポッドキャストのエピソードのリストから選ぶ

再生中リスト ▶ 曲／エピソードを選ぶ

アーティストから探す

アーティスト ▶ アーティストを選ぶ*1 ▶ アルバムを選ぶ*2 ▶ 曲を選ぶ

※1 ・再生▶を選ぶと、選んだアーティストの先頭から再生
・ALLを選ぶと、iPod内の全アルバムリストを表示 ▶ 曲を選ぶ

※2 ・再生▶を選ぶと、選んだアルバムの先頭から再生
・ALLを選ぶと、選んだアーティストの曲リストを表示 ▶ 曲を選ぶ

※3 ALLを選ぶと、iPod内の全曲リストを表示 ▶ 曲を選ぶ

アルバムから探す

アルバム ▶ アルバムを選ぶ*4 ▶ 曲を選ぶ

※4 ・再生▶を選ぶと、選んだアルバムの先頭から再生
・ALLを選ぶと、iPod内の全曲リストを表示 ▶ 曲を選ぶ

プレイリストから探す

プレイリスト ▶ プレイリストを選ぶ*5 ▶ 曲を選ぶ

※5 再生▶を選ぶと、選んだプレイリストの先頭から再生

全曲のリストから探す

曲 ▶ 曲を選ぶ

Podcast*6からエピソードを探す

Podcast ▶ 番組を選ぶ*7 ▶ エピソードを選ぶ

※6 ポッドキャスト (Podcast) とは、インターネット上で配信されている番組などのことです。

ビデオポッドキャストは音声のみ再生され、映像の表示はできません。

※7 再生▶を選ぶと、選んだ番組の先頭から再生

条件を選んで再生する

1 設定

- iPod設定画面を表示

2 再生する条件を選ぶ

- 条件は1つしか選べません。

繰り返し再生する (リピート)

- 全曲*8を繰り返し再生 [すべて]
- 再生中の曲を繰り返し再生 [1曲]

順不同に再生する (シャッフル)

- 全曲*8を曲単位で順不同に再生 [曲]
- 全曲*8をアルバム単位で順不同に再生 [アルバム]

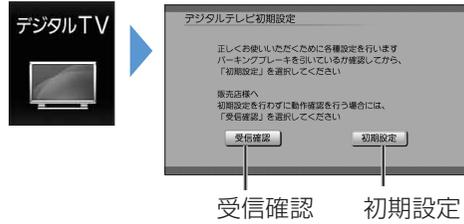
※8 再生中の曲やエピソードの選曲方法により異なります。

(例: [アーティスト]で選曲した場合は、そのアーティストの全曲が対象となります)

お知らせ

- シャッフル方法は、iPodの仕様に基づきます。

オーディオメニューから (P. 76)



- 初めてデジタルTVに切り換えたときは、自動でデジタルテレビ初期設定画面が表示されます。

お知らせ

- 販売店で、初期設定をせずに動作確認を行う場合には、**受信確認**を選んでください。
- 受信確認中は、**◀▶** (リモコン→**◀▶**)で物理チャンネルを変更できます。

■デジタルテレビ初期設定を変更・再確認するとき
デジタルテレビ初期設定画面は、一度設定すると、システムの初期化 (P. 154) をするまで表示されません。引越して受信地域が変わったなどの理由で、デジタルテレビ初期設定の項目を変更したい場合は、下記のメニューから設定してください。

- 郵便番号設定
情報/設定メニューの **システム設定** ▶ **郵便番号** (P. 111)
- 県域設定
情報/設定メニューの **システム設定** ▶ **県域** (P. 111)
- チャンネル設定
ホームモード (P. 108) に切り換えて、
情報/設定メニューの **システム設定** ▶ **ホームチャンネル** (P. 108)
- B-CASカードテスト
情報/設定メニューの **B-CASカード** (P. 111)

郵便番号を設定する

1

初期設定

2

お住まいの地域の郵便番号を入力し **決定**

(リモコン→**▲**「▼」: 数字を変更、リモコン→**◀**「▶」: カーソルの移動、
リモコン→**決定**: 決定)
(リモコンの数字キーでも入力できます。)

都道府県を選ぶ (県域設定)

3

お住まいの都道府県を選ぶ

(リモコン→**◀**「▶」: 地域を選ぶ、
リモコン→**▲**「▼」: 都道府県を選ぶ、
リモコン→**決定**: 決定)

4

次へ

(リモコン→**決定**)

伊豆、小笠原、南西諸島鹿児島県地域を設定するとき

- 伊豆、小笠原諸島地域 **沖縄・その他の島部** ▶ **東京都島部**
- 南西諸島鹿児島県地域 **沖縄・その他の島部** ▶ **鹿児島県島部**

ホームモードのチャンネルを設定する

5

地域を確認して、**決定**(リモコン→**決定**)

- 受信可能なチャンネルの検索が完了すると、一覧表が表示される。
- 地域によって、検索に時間がかかる場合があります。(約5分)

地域を変更するとき

◀▶で選ぶ
(リモコン→**◀**「▶」)

お知らせ

- ホームチャンネルで検索できない放送局があった場合は、初期設定終了後に、再スキャン (P. 108) してください。

6

各チャンネルの放送局を確認して **決定**(リモコン→**決定**)

チャンネルを修正するとき

▲「▼」でチャンネル番号を選ぶ
(リモコン→**▲**「▼」)
◀「▶」で放送局を選ぶ
(リモコン→**◀**「▶」)

- 自宅のディーガに遠隔録画する場合 (P. 134) は、チャンネルを修正しないでください。

チャンネル設定画面



放送局名
チャンネル番号
(リモコンの数字キーで選局できる番号)

同じ系列局で受信できるチャンネル (複数ある場合があります)。ワンセグは、青色で表示されます。

B-CASカードテストをする

7

B-CASカードが正しく入っていることを確認して **テスト**(リモコン→**決定**)

- B-CASカード (P. 16)

8

テスト結果を確認する

- OK (正常に動作している) のとき **次へ** (リモコン→**決定**)
- NG (正常に動作していない) のとき **いいえ**

手順⑨の後、右記の手順で再度B-CASカードテストを行う。

9

終了

(リモコン→**決定**)

■B-CASカードのテスト結果がNGのとき

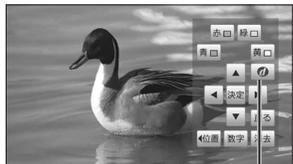
- ①車のエンジンを切る (ACC OFF)
- ②B-CASカードを取り出す
- ③B-CASカードを正しく挿入する
- ④車のエンジンをかける (ACC ON)
- ⑤B-CASカードのテストをする (P. 111)

データ放送を見る

ご覧になる前に、番組内容の属性画面(P.105)で、データ放送があるか確認してください。

選局パネルから(P.104)

操作 (タッチ操作のみ)



カーソルパネル



データ放送の操作

お知らせ

- 双方向データサービスやワンセグのデータ放送には対応していません。
- 情報量が多いときは、表示に時間がかかる場合があります。
- デジタルTV画面でリモコンの「**操作**」を押してもデータ放送が表示されません。(カーソルパネルや数字パネルは表示されません。)
- カーソルパネルや数字パネルを表示中にリモコンでデジタルTVの操作を行うと、カーソルパネルや数字パネルは消去されます。

- カーソルキーで項目を選ぶとき
◀▶▼▲ で項目を選び、**決定**
- カラーボタンで項目を選ぶとき
青 ◻ 赤 ◻ 緑 ◻ 黄 ◻
(リモコン→「青」「赤」「緑」「黄」)
- パネルを消去するとき
消去
(タッチ操作のみ)
- 再度パネルを表示させるとき
選局パネルを表示
操作
- 数字を入力するとき **数字** ▶
[1] ~ [12] で項目を選ぶ
(リモコン→「1」~「12#」)
(カーソルパネルに戻るときは、**操作** を選ぶ)
- パネルを左に移動するとき
◀ **位置** (タッチ操作のみ)
- 数字を入力するとき **数字** ▶
[1] ~ [12] で項目を選ぶ
(リモコン→「1」~「12#」)
(カーソルパネルに戻るときは、**操作** を選ぶ)

文字を入力するとき



画面キーボードで文字を入力する

- 文字入力のしかた (P.25)
- 本機の画面ではなく、番組独自のキーボードが表示されたときは、画面の指示に従ってください。

データ放送を消すとき

操作 を選ぶ
(リモコン→「**操作**」)

緊急警報放送(EWS)を見る

緊急警報放送(EWS)とは

大規模災害など緊急の出来事が発生した場合に放送局より情報を送信し、視聴者にいち早く知らせる放送システムです。EWSは緊急警報放送システム(Emergency Warning System)の略です。

緊急警報放送(EWS)を受信したら

自動的に緊急警報放送に切り換わります。



- 一度選局された緊急警報放送のチャンネルは、放送を終了するか、車のエンジンを切って(ACC OFF)、再度エンジンをかける(ACC ON)までは自動的に選局されません。
- 緊急警報放送が終了しても、そのままデジタルTV画面が表示されます。元のオーディオには戻りません。
- 視聴中のデジタルTVのチャンネル以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り換わりません。
- 走行中は、緊急警報放送を表示できません。車を安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。
- ハンズフリー通信中(発着信中、通話中)は、緊急警報放送に切り換わりません。

ナビゲーション連動について

緊急警報放送中に現在地画面に切り換えると、自車から最寄の広域避難場所を検索できます。

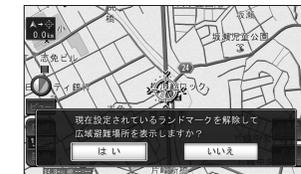
緊急放送を表示中に



1

現在地

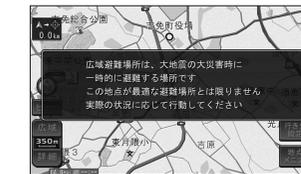
(リモコン→「現在地」)



- 現在地画面が表示されます。

2

はい



- 広域避難場所を検索し、自車から最寄の広域避難場所の地図が表示されます。
- 広域避難場所を表示させると、表示中のランドマークが解除されます。再度表示させるには、ランドマークの設定をしてください。(P.39)

3

広域避難場所を確認する

災害時は、安全な場所に駐車し、歩いて広域避難場所に避難してください。自動車で避難すると、事故・渋滞の原因になるばかりでなく、緊急車両の通行の妨げになります。

広域避難場所は、大地震の大火災時に一時的に避難する場所です。表示される場所が最適な避難場所とは限りませんので、実際の状況に応じて行動してください。

自車周辺の広域避難場所を探す

引っ越しなどで受信地域が変わったときや、旅行先でテレビを見るときのなどに、チャンネルを設定します。

選局パネルから (P.104)

デジタルTVメニュー
(タッチ操作のみ)

デジタルTVメニュー画面



ホーム / おでかけ でモードを切り換えられます。
(リモコン→「」)
このとき、上記画面を表示させる必要はありません。
●各モードのチャンネル設定方法は(右記)

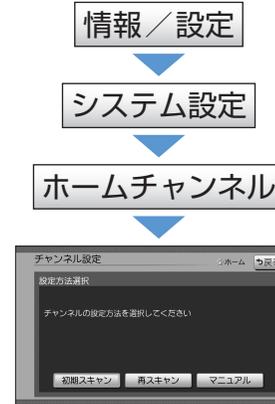
ホームモードとは
デジタルテレビ初期設定 (P.102) で設定した、自宅周辺で受信できるチャンネルを選ぶモードです。

おでかけモードとは
ホームモードの放送局が受信できない旅行先などで、ホームモードとは別に、旅行先で受信できるチャンネルを登録できるモードです。

- ※1・新たに受信できたチャンネルが検索され、以前の設定に追加されます。
●以前登録されていたチャンネルは残ります。
- ※2・放送局の系列は、ホームモード時のチャンネル設定に合わせます。
●ワンセグは青色で表示されます。
●おでかけモードでは、チャンネルの修正はできません。
●一覧表示は、約10秒後に自動的に消去されます。

ホームモードで使用するチャンネルを設定する

準備: 「ホームモード」に切り換える(左記)



引っ越しのときなど

引っ越しなどで受信地域が変わった場合、ホームモードを再設定します。

- 初期スキャン
- でお住まいの地域を選び、決定
●現在受信できるチャンネルが検索され、以前の設定に上書きされる。
- 画面で内容を確認し、決定
(リモコン→「決定」)
チャンネルを修正するとき (P.103 手順6 参照)

放送局を追加するとき(再スキャン)

自宅付近に新しく開設された放送局や、自宅に隣接した地域で受信できる放送局を追加します。

- 再スキャン ※1
- 画面で内容を確認し、決定
(リモコン→「決定」)
チャンネルを修正するとき (P.103 手順6 参照)

設定したチャンネルを修正する

- マニュアル
- チャンネルを修正 (P.103 手順6 参照)
- 決定
(リモコン→「決定」)

おでかけモードで使用するチャンネルを設定する

準備: 「おでかけモード」に切り換える(左記)

自動

自動で切り換える(エリアプリセット)

自車位置に応じて、放送局リストを自動で切り換えます。

- エリア
- 解除するとき再度「エリア」を選ぶ
●おでかけ初期スキャン/おでかけ再スキャンすると、エリアプリセットは解除されます。

手動

旅行先のチャンネルを設定する(おでかけ初期スキャン)

- 初期スキャン
- 受信できるチャンネルを確認する ※2
●現在受信できるチャンネルがすべて検索され、以前の設定に上書きされます。
●デジタルTV画面で「」を1秒以上押ししても、おでかけ初期スキャンできます。
(リモコン→「」1秒以上)

旅行中受信エリアが変わったとき(おでかけ再スキャン)

おでかけの途中で受信エリアが変わり、おでかけモードの放送局を追加するとき。

- 再スキャン ※1
- 受信できるチャンネルを確認する ※2
●デジタルTV画面で「」を1秒以上押ししても、おでかけ再スキャンできます。
(リモコン→「」1秒以上)

その他の情報表示 / 設定をする

(太字はお買い上げ時の設定です)

地上デジタル放送 / ワンセグを切り換える (受信モード)

1

受信モードを選ぶ

- 受信状態に応じて、地上デジタル放送とワンセグを自動的に切り換えるとき

自動切換

- 番組のタイトル表示・チャンネル表示に「AUTO」を表示
- ワンセグを受信するとき **ワンセグ**
- 地上デジタル放送を受信するとき **地上D**

お知らせ

- 受信状況により、切り換え時に数秒間映像が途切れることがあります。
- 放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグの番組内容が異なる時間帯があるため、地上デジタル放送 / ワンセグを切り換えた際、異なる番組になる場合があります。

デジタルTVメニュー (P.108)



情報 / 設定

情報 / 設定メニュー



システム設定画面



- ◀ / ▶ で設定したい項目 (P.111) を表示する。
- ホームチャンネルの設定は (P.108)

受信可能な放送局一覧を表示する

1

放送局一覧

- 本機に設定された受信可能なチャンネルが表示されます。

各種信号を切り換える

映像、音声、字幕が複数ある場合、選択できます。

1

信号切換

2

各項目を設定する

手順②の設定項目について

マルチビュー: マルチビュー放送のときに選択できます。(マルチビュー放送とは、同一のチャンネルで主番組と副番組の複数映像が送られる放送のことです。)

映像: 映像が複数あるときに選択できます。

音声: 音声を選択できます。

二重音声: 音声多重放送のときに選択できます。

字幕: 字幕言語を選択できます。

文字スーパー: 文字スーパーの言語を選択できます。(文字スーパーとは、視聴者にお知らせしたい情報を、番組放送中の画面上に文字で表示させたものです。)

B-CASカードの情報を見る

1



■ B-CASカードテストをするとき

手順①の後、**B-CASカードテスト**(リモコン→「決定」)

- カードID(B-CASカード番号)は、お問い合わせの際に必要です。(忘れないようにメモをとっておいてください)

放送メールを見る

1



確認したいメールを選ぶ

- 放送メールは、最大31件表示されます。

ソフト情報を見る

1



情報を確認する

文章を切り換えるとき

- **文章1** **文章2** **文章3** を選ぶ

移動により受信状態が悪いとき

1



2



- **する** を選ぶと、自動的に受信状態のよい中継局、または同じ系列の放送局に切り換えます。

お知らせ

- 県境を越えて移動した場合など、オート放送局サーチ機能でも放送局を切り換えられない場合があります。手動で選局してください。(P.104「リストからチャンネルを選ぶ」)

データサービスの設定をする

1



地上D選局対象

- **テレビ** ทีวีサービスのみ選局 (番組表も、ทีวีサービスのみ表示)
- **テレビ / データ** ทีวีサービスと独立データサービスを選局

郵便番号を設定する

1



お住まいの地域の郵便番号を入力して、決定

(リモコン→「▲」「▼」: 数字を変更、リモコン→「◀」「▶」: カーソルの移動、リモコン→「決定」: 決定)
(リモコンの数字キーでも入力できます。)

都道府県を選ぶ (県域設定)

1



お住まいの都道府県を選ぶ

(リモコン→「◀」「▶」: 地域を選ぶ、リモコン→「▲」「▼」: 都道府県を選ぶ、リモコン→「決定」: 決定)

伊豆、小笠原諸島、南西諸島鹿児島県地域のとき

- 伊豆、小笠原諸島地域 **沖縄・その他の島部** ▶ **東京都島部**
- 南西諸島鹿児島県地域 **沖縄・その他の島部** ▶ **鹿児島県島部**

D2映像出力の設定をする

1



解像度を選ぶ

- **する(D2)** リヤモニターをD2端子で接続した場合に設定してください。デジタルTVの解像度もD2になります。
- **しない(D3)** 通常はこの解像度に設定してください。

準備: DVDディスクを本機に挿入してください。

オーディオメニューから (P.76)



● DVD画面に切り換わります。

■ タッチキーを表示させるには

本編再生中に、画面をタッチ。

タイトル番号/チャプター番号

現在のサラウンド効果とチャンネル数



タッチキー

- DVD-VideoとDVD-VRでは、タッチキーの操作が一部異なります。
- DVDの種類により、ディスク挿入後トップメニュー/タイトルメニューが表示され、自動でダイレクトタッチメニューが表示される場合があります。そのときは「操作」を選んでタッチキーを表示させてください。
- 本機で再生できるディスクについては「ディスクについて」(P.172)をご覧ください。

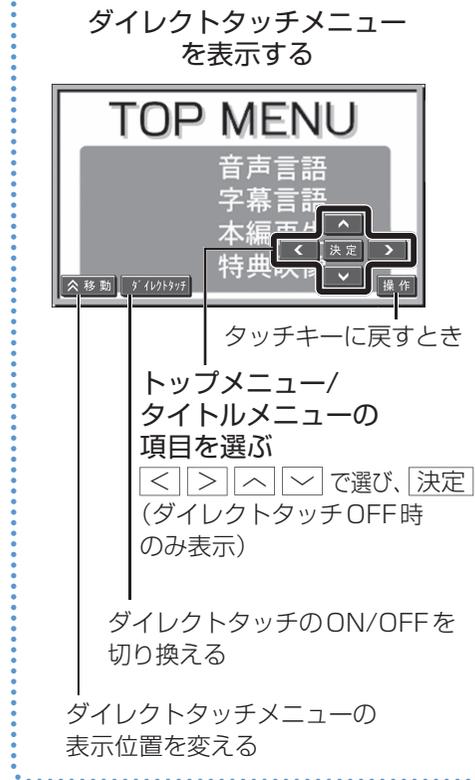
■ 動作状態を表示させるには

リモコンの「DISPLAY」(リモコン操作のみ)

お知らせ

- DVDのフォーマットが識別される少しの間、音声・映像がとぎれることがあります。
- DVDの制約により、本書の操作説明どおりに動作しないものがあります。(画面に⓪が表示されます) 詳しくは、DVDの説明書をご覧ください。

DVD-Videoのタッチキー



音声言語を切り換え^{※1}

- 音声 ▶ 音声切換
- 「音声切換」をタッチすることにより切り換わる

字幕言語を切り換え^{※1}

- 字幕 ▶ 字幕切換
- 「字幕切換」をタッチすることにより切り換わる(字幕が表示されるまで時間がかかる場合があります。)
- 字幕を消すとき「字幕」▶「字幕消」(もう一度、「字幕消」を選ぶと字幕を表示)

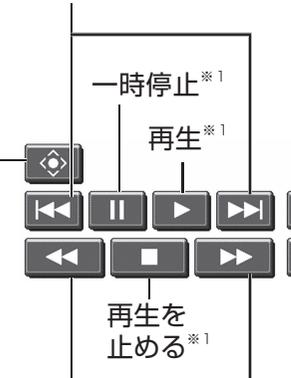
アングルを切り換え^{※1}

- アングル ▶ アングル切換
- DVD初期設定(P.114)でマルチアングルマークを表示「する」に設定すると、アングル切り換えが可能となるときに画面右上にが表示されます。

タイトルを選んで再生^{※1}

- サーチ ▶ 再生したいタイトル番号を入力する ▶ 完了

チャプターを頭出し(リモコン→「◀」「▶」)



- 再生を止める^{※1}
- タッチし続けている間、早送り・早戻し(リモコン→「◀」「▶」押し続ける)
- スロー再生するとき一時停止中に▶▶▶をタッチし続ける(リモコン→「▶▶▶」押し続ける)

設定メニューを表示(P.114)

タッチキーを消去

ディスクの決められた位置から再生(リモコン→「戻る」)

タイトルメニュー^{※2}を表示(リモコン→「赤」)

トップメニュー^{※2}を表示(リモコン→「青」)



- トップメニュー/タイトルメニューの項目をタッチして選ぶ^{※1}
- どの項目をタッチしたかを本機が判別できなかった場合は、画面がズームアップします。再度項目をタッチしてください。
- 「戻る」を選ぶと、画面が元に戻ります。

DVD-VRのタッチキー

プログラム・プレイリストを頭出し(リモコン→「^」「v」)

- タッチし続けている間、早送り・早戻し(リモコン→「◀」「▶」押し続ける)
- スロー再生するとき一時停止中に▶▶▶をタッチし続ける(リモコン→「▶▶▶」押し続ける)

字幕表示を切り換え^{※1}

- 字幕 ▶ 字幕消
- 字幕を消すとき「字幕」▶「字幕消」(もう一度、「字幕消」を選ぶと字幕を表示)

音声出力を切り換え^{※1}

- 音声 ▶ 音声切換
- 「音声切換」をタッチすることにより、下記のように切り換わる。
- L, R: 主音声 → L, R: 副音声
- ← L: 主音声, R: 副音声 →

タイトルを選んで再生^{※1}

サーチ ▶ 再生したいタイトル番号を入力する ▶ 完了

チャプターを頭出し(リモコン→「◀」「▶」)



設定メニューを表示

タッチキーを消去 次の静止画を表示^{※1}

プレイリストを再生(リモコン→「赤」)

■ 音声言語/字幕言語/アングルについて

- 電源を入れたときやディスクを入れ換えたときの音声言語や字幕言語は、DVD初期設定が優先されます。
- 音声言語/字幕言語/アングルの数は、ディスクによって異なります。詳しくは、ディスクの取扱説明書をご覧ください。
- 音声言語、字幕言語、アングルの切り換えは、トップメニュー(上記)やDVD初期設定(P.114)からしかできない場合があります。

※1 タッチ操作のみ
 ※2 トップメニュー/タイトルメニューは、ディスクによって異なります。

(太字はお買い上げ時の設定です)

画面をタッチして
タッチキーを表示させ、

設定

●設定メニューが表示されます。

初期設定

DVD初期設定画面



- / で、設定したい項目(右記)を表示する。
- 「アスペクト切替」および「画質調整」の設定は(P. 158)

音声ダイナミックレンジ
について

ノイズに埋もれない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮し、小さい音声が高音量の効果音などで消えないようにする機能です。

<p>音声言語を設定する</p>	<p>① 音声の 設定する ▶</p>	<p>② 言語を選ぶ ●日本語 ●英語 ●フランス語 ●スペイン語 ●ドイツ語 ●イタリア語 ●オランダ語</p> <p>③ 戻る ▶</p> <p>④ 終了 (リモコン→「戻る」)</p> <p>■上記以外の言語を設定したいとき</p> <p>② その他 ▶</p> <p>③ 言語コードを入力し、完了 ▶</p> <p>④ 終了 (リモコン→「戻る」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●言語コード一覧表(P. 188) ●1文字削除するとき 修正
<p>字幕言語を設定する</p>	<p>① 字幕の 設定する ▶</p>	
<p>メニュー言語を設定する</p>	<p>① ソフトメニューの 設定する ▶</p>	
<p>マルチアングルマークの表示を設定する</p>	<p>① マルチアングルマークの する / しない を選ぶ ▶</p>	<p>● する アングル切替が可能なとき、再生画面右上に を表示</p> <p>● しない マルチアングルマークを表示しない</p> <p>② 終了 (リモコン→「戻る」)</p>
<p>再生できるDVDを制限する</p>	<p>① 視聴制限の 設定する ▶</p>	<p>② 暗証番号(4桁)を入力し、完了 ▶</p> <p>1文字削除するとき 修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お買い上げ時には、暗証番号が設定されていません。はじめて視聴制限を設定するときに入力した4桁の番号が、暗証番号として設定されます。 ●暗証番号を設定していない場合は、画面に「- - - -」と表示されます。 ●暗証番号を一度設定すると、視聴制限の設定変更時には、暗証番号を入力する必要があります。 ●暗証番号を忘れた場合には、修正を10回選ぶと暗証番号を解除できます。 <p>③ 視聴制限レベルを選ぶ ▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ●選んだレベルまでのDVDが再生できます。 ① 子供向けのDVDのみ (一般向けと成人向けは禁止) ②~⑦ 子供向けと一般向けのDVDのみ (成人向けは禁止) ⑧ すべてのDVD(視聴制限なし) <p>④ 戻る ▶</p> <p>⑤ 終了 (リモコン→「戻る」)</p>
<p>音声ダイナミックレンジの圧縮率を設定する (ドルビーデジタル再生時のみ)</p>	<p>① 音声ダイナミックレンジの 設定する ▶</p>	<p>② モードを選ぶ ▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ● MAX 圧縮しない、映画館そのままのモード ● STANDARD ソフトの制作者が、小音量での視聴用として推奨するモード ● MINIMUM 最も圧縮した、一般のテレビ放送などに近いモード <p>③ 戻る ▶</p> <p>④ 終了 (リモコン→「戻る」)</p>
<p>ワイドサイズDVD再生時の映像サイズを設定する</p>	<p>① 映像出力切替の 設定する ▶</p>	<p>② 映像サイズを選ぶ ▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 16:9(ワイド) 通常は、このサイズに設定してください。リヤモニターに4:3のモニターを接続した場合は設定を変更してください。 ● 4:3(レターボックス) ● 4:3(パンスキャン) <p>③ 戻る ▶</p> <p>④ 終了 (リモコン→「戻る」)</p>

お知らせ

- DVDに優先言語が設定されている場合、その言語が優先されます。
- 設定した言語がDVDに未収録の場合は、その言語では再生されません。

静止画を見る

SDメモリーカード内の写真(デジタルカメラで撮影したJPEG画像などの静止画データ)を再生/保存(本機のHDDに)できます。

オーディオメニュー
から(P.76)

PHOTO

フォルダ画面



静止画データを本機に保存する (1つのフォルダに最大1,000枚)

- 準備: 静止画データが保存されたSDメモリーカードを本機に入れる。
- SDメモリーカード (リモコン→「赤」)
 - HDDに保存 (リモコン→「ビュー」)
- SDメモリーカードファイル画面を表示
 - SDメモリーカード内のフォルダ/ファイル数が多いときは、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

- 保存するファイルを選び、保存 (リモコン→「ビュー」)
●複数のファイルを選べます。(もう一度選ぶと解除)
 - 保存先のフォルダを選ぶ (リモコン→「ビュー」)
●初めて静止画データを保存する場合は、自動的にフォルダが作成されるので、この操作は必要ありません。
●サンプル/オープニングフォルダには保存できません。
 - はい
- [PHOTO画面から保存するとき] SDメモリーカードのPHOTO画面(下記)から [設定] → HDDに保存する
[新規フォルダに一括保存するとき] ツートップメニュー(P.40)から [情報/設定] → データ → SD読み込み/保存 → SDメモリーカードから読み込む → PHOTO一括保存

静止画を再生する

- HDDからの場合
- HDD (リモコン→「青」)
- SDメモリーカードからの場合
- SDメモリーカード (リモコン→「赤」) → 手順③へ

- フォルダを選ぶ (リモコン→「ビュー」)
●PHOTO画面が表示されます。(P.118)
- ファイルを選ぶ (リモコン→「ビュー」)
●SDメモリーカード内の静止画は、DCIMフォルダに保存されたものを、フォルダの構成に関係なく日付の新しい順に最大200枚まで表示します。

静止画を移動する

- HDD (リモコン→「青」)
- フォルダを選び、編集 (リモコン→「ビュー」)
編集 (リモコン→「ビュー」)

- 移動する (リモコン→「ビュー」)
●複数のファイルを選べます。(もう一度選ぶと解除)
- 移動したいファイルを選び、移動 (リモコン→「ビュー」)
- 移動先のフォルダを選ぶ (リモコン→「ビュー」)
●サンプル/オープニングフォルダには、移動できません。
●1つのフォルダには、最大100枚移動可能です。
- はい

静止画データを消去する※1

ファイル消去
フォルダ消去

- HDD (リモコン→「青」)
- フォルダを選び、編集 (リモコン→「ビュー」)
編集 (リモコン→「ビュー」)
- 消去する (リモコン→「ビュー」)

- 消去したいファイルを選び、消去 (リモコン→「ビュー」)
●複数のファイルを選べます。(もう一度選ぶと解除)
- はい
- HDDのPHOTO画面(上記)から [設定] → 消去するでも、消去できます。
●サンプル/オープニングフォルダの静止画は消去できません。

- HDD (リモコン→「青」)
- 編集 (リモコン→「ビュー」)
- 消去する (リモコン→「ビュー」)

- 消去したいフォルダを選び、消去 (リモコン→「ビュー」)
●複数のファイルを選べます。(もう一度選ぶと解除)
- はい
- [全消去] をタッチすると、HDD内のすべての静止画データが消去されます。

フォルダの名称を変更する

- HDD (リモコン→「青」)
- 編集 (リモコン→「ビュー」)
- 名称を変更する (リモコン→「ビュー」)

- 名称を変更したいフォルダを選ぶ (リモコン→「ビュー」)
- 名称を入力し、完了 (リモコン→「ビュー」)
●全角6文字(半角12文字)まで。
●文字入力のしかた(P.25)

スナップエフェクターで再生するフォルダを選ぶ

- HDD (リモコン→「青」)
- 編集 (リモコン→「ビュー」)

- スナップエフェクター設定 (リモコン→「ビュー」)
- 設定したいフォルダを選び、完了 (リモコン→「ビュー」)
●複数のフォルダを選べます。(もう一度選ぶと解除)
- 完了 (リモコン→「ビュー」)
- 完了 (リモコン→「ビュー」)
●サンプル/オープニングフォルダは、指定フォルダに設定できません。
●[全解除] をタッチすると、選んだフォルダがすべて解除されます。

お知らせ

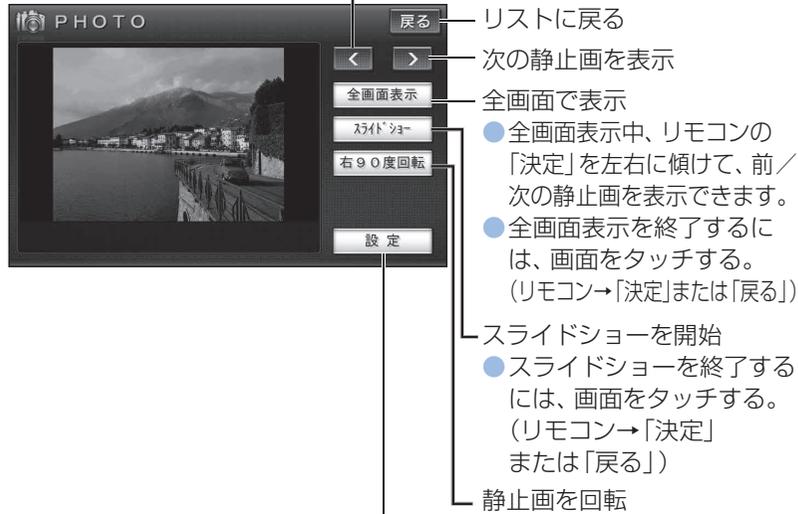
SDメモリーカード内の静止画データは、移動・消去・フォルダの名称変更できません。

- ※1
- 消去したデータは、元に戻せません。消去は、十分確認のうえ行ってください。
 - 消去中は、エンジンを切らないでください。正しく動作しなくなる場合があります。

■ PHOTOの基本操作

PHOTO画面

(P.116「静止画を再生する」)



静止画をオープニング時に表示する

- 1 オープニングに設定したい静止画を表示させ、**設定**
- 2 オープニング画像にする
- 3 表示のさせかたを選び、**登録**
- 4 はい

- 静止画の縦横比はそのまま、上下幅を画面サイズに合わせて表示 **上下合わせ**
- 静止画の縦横比はそのまま、左右幅を画面サイズに合わせて表示 **左右合わせ**
- 静止画を右に90度回転 **右90度回転**
- 選ぶごとに、表示時間を変更(4秒→7秒→10秒) **表示時間変更**

お知らせ

- お買い上げ時の画面に戻すには、HDDのフォルダ画面(P.116)からオープニングフォルダを選び、静止画を選びなおしてオープニング画像に設定してください。

オーディオメニューから(P.76)



- (リモコン→「**^**」/**^**)
- FM/AMを切り換える
- 押すごとに切り換わります。

お知らせ

- AMステレオには対応していません。

※1 FM/AM各6局まで、受信できる放送局を自動的に探して記憶します。

※2 エリアモード時はプリセットメモリーできません。
・地域によっては、リストに実際とは異なる放送局名や、周波数のみが表示される場合があります。

ラジオ (FM/AM) を聴く

リストから
選んで聴く

リストをタッチして放送局を選ぶ

(リモコン→「**◀**」/**▶**)

- 選んだ放送局に切り換わる。
- 状態に応じてリストの内容は異なります。

エリアモード時:

自車位置の地域に応じた放送局

エリアモード解除時:

オートプリセット・プリセットメモリーで記憶させた放送局

周波数を
選んで聴く
(手動選局)**<** **>** (タッチ操作のみ)

- 周波数が切り換わる。
- 1秒以上タッチすると選局を始め、受信すると止まる。(シーク選局)

放送局を
記憶させる■ 自動で記憶させる
(オートプリセットメモリー※1)**オート** (1秒以上)(リモコン→「**▶**」1秒以上押す)

- 受信状態のよい放送局から順に上書きされ、記憶される。
- 受信できる放送局がないときは、1周して元の放送局に戻る。
- オート操作を中止するときは、再度**オート**を選ぶ。

■ 手動で記憶させる
(プリセットメモリー※2)

受信中の放送局をリストに記憶する

- ① **◀** **▶** で記憶させたい放送局を選局する。
- ② 記憶させたいリストの番号を1秒以上タッチする。(リモコン→「決定」1秒以上押す)(受信中の放送局がその番号に記憶される。)

自車位置に応じて
放送局を
切り換える
(エリアモード)**エリア** (タッチ操作のみ)

- 自車位置の地域に応じた放送局のリストが表示される。
- エリアモードを解除するときは、再度**エリア**を選ぶ。
- オートプリセットすると、エリアモードは解除されます。

交通情報(TI)を聴く



TI (本体操作のみ)

- 交通情報の音声が出力されます。
- オーディオ画面表示中は、交通情報画面が表示されます。
- ハンズフリー通信中(発着信中、通話中)は切り換えられません。

■ 交通情報(TI)を
OFFにするには再度 **TI**
(本体操作のみ)■ 交通情報(TI)の周波
数を変更するには

準備: AMラジオに切り換える。

- 1 **変更したい周波数に
合わせる** (左記)

- 2 **TI** 1秒以上押す
(本体操作のみ)

- 受信している周波数が記憶されます。

モニターを閉じたまま、オーディオの音声を楽しめます。

頭出しする

■ アルバム／フォルダ／プレイリストの頭出し

(MP3/WMA、HDD MUSIC、SD-Audioのとき)



■ チャプター／曲の頭出し



(DVD、CD、MP3/WMA、iPod、HDD MUSIC、Music Stylist、SD-Audio、BLUETOOTH Audioのとき)

- タッチし続けると早送り・早戻し (SD-Audioは除く) となります。

■ プログラム／プレイリストの頭出し

(DVD-VRのとき)



電話に出る

(ハンズフリー接続中)



- 切るときは、1秒以上押す。



FM/AMを選ぶ



- 押すごとに切り換わります。

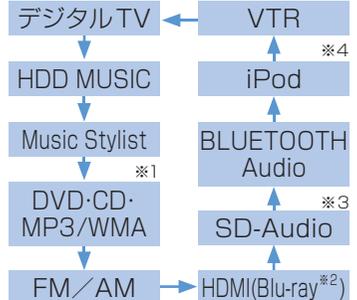
記憶させた放送局を選ぶ

FM/AM、デジタルTVのとき



オーディオを切り換える

● 押すごとに切り換わります。



- ハンズフリー通信中(発着信中、通話中)は、切り換えられません。

サブディスプレイ表示の例

サブディスプレイに、本機の状態・操作内容などを表示します。

お知らせ

- 操作によって下記のように表示されます。
例) PAUSE: 一時停止
FF: 早送り など

CD



REP1: 1曲リピート
RAND: ランダム再生
SCAN: スキャン再生

MP3 WMA HDD MUSIC SD-Audio



REP1: 1曲リピート
REP: フォルダリピート (MP3/WMA、HDD MUSIC)/プレイリストリピート (SD-Audioのみ)

RAND: ランダム再生
SCAN: スキャン再生

DVD



Music Stylist



iPod BLUETOOTH Audio



- 曲情報・フォルダ情報は表示されません。

デジタルTV



ラジオ



受信中のバンド (AM/FM)

TI (交通情報)



HDMI



Blu-ray*2



VTR



ハンズフリー



HF DIAL (点滅): 発信中
HF CALL (点滅): 着信中
HF TALK: 通話中

音量調整



オーディオ OFF



時計表示



- サブディスプレイ表示設定を「時計」にしてください。(P.154)

ナビゲーションの地図画面に、デジタルTV、DVD、HDMI(Blu-ray*2)、VTRの映像を表示できます。

地図画面から (P.30)



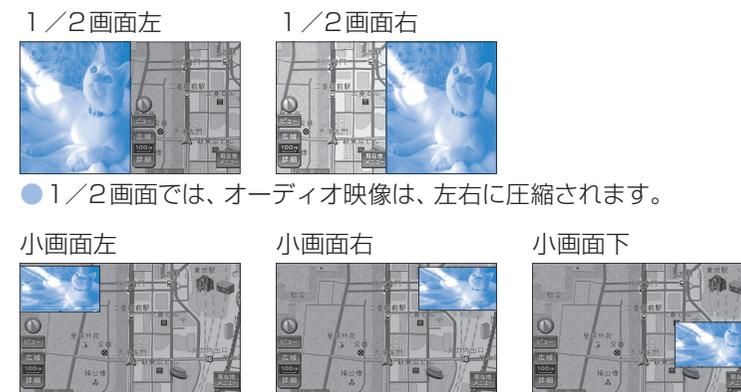
(リモコン→「ビュー」)

- 画面表示例(下記)参照
- 「表示しない」を選ぶと、オーディオ映像は表示されません。

お知らせ

- 走行中は、オーディオ映像は消去され、地図画面のみ表示されます。
- オーディオ映像を表示させるときは、安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。
- 拡大図表示中や地図モード画面では、オーディオ映像は表示されません。
- 案内図表示中は、「1/2画面左」、「1/2画面右」は表示されません。

画面表示例



- 1/2画面では、オーディオ映像は、左右に圧縮されます。
- 小画面では、オーディオ映像は16:9で表示されます。
- 4:3の画面は左右に引き伸ばされます。

お知らせ

- オーディオ映像に隠れた地図画面のタッチキーは、操作できません。
- 上記画面では、オーディオはタッチ操作できません。本体ボタンまたはリモコンで操作してください。オーディオ映像が表示されている部分をタッチすると、オーディオ映像が全画面で表示されます。
- 「1/2画面左」、「1/2画面右」に設定後、別の画面表示を選ぶと、地図は2画面になります。手動で1画面に戻してください。(P.35)